

美術史・文化遺産実習2－Ⅳ

科目ナンバリング FAH-404
選択必修 2単位

鎌田 純子

1. 授業の概要(ねらい)

日本の古美術品やそれに関係する史資料に直接触れ、そこから様々な情報を読み取る訓練をおこなう。まずは、美術資料の正しい取り扱い方を習得する。その上で、各々の美術資料から必要な情報(材質、技法、箱書きや作品に記されている内容、製作者の情報など)を読み取り、それらを分析して、作品解説する方法を身につける。そのため、簡単なくずし字を読むスキルも必要となる。さらに、作品を文章で描写する、ディスクリプションの方法も学修する。また可能であれば、展覧会見学会を行い、実作品を観察して自ら何かを発見する経験を大切にしたい。秋期は、古美術品の作品調査とその解説を書く実習をおこなう。作品調査の成果は図録として刊行する

2. 授業の到達目標

美術資料の基礎的な調査方法をマスターし、解説が書けるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席態度、授業内の課題)(60%)や課題の出来(40%)などを総合的に判断して評価する。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

できる範囲で、美術館、博物館へ行き、自ら何かを発見する経験を多くもつこと。

6. その他履修上の注意事項

可能な範囲で、授業時間外に美術館・博物館へ展覧会見学に行くことがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 古美術品の取扱いと調査方法
- 【第3回】 展覧会見学会① 観察眼を養う
- 【第4回】 作品調査① 観察と調書作成
- 【第5回】 作品調査② 写真撮影
- 【第6回】 作品解説を書く① 調べ学習
- 【第7回】 作品解説を書く② 文章にまとめる
- 【第8回】 展覧会見学会② プロの解説をみる
- 【第9回】 作品図録出版作業① 入稿
- 【第10回】 作品図録出版作業② 校正
- 【第11回】 染織品の取扱い① 講義
- 【第12回】 染織品の取扱い② 実践
- 【第13回】 十二単を着てみよう
- 【第14回】 模擬展示会とギャラリートーク
- 【第15回】 まとめ